

# 学校経営の概要

校訓 『親和』

## 1 教育目標

校訓「親和」の精神に則り、自他の命と人権を尊重し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

## 2 めざす子供像

- ・ 明るく素直で、礼儀正しい子供
- ・ 進んで学び、よく考え、工夫する子供
- ・ 進んで体をきたえる子供
- ・ 思いやりがあり、支え合う子供
- ・ 郷土や自然を愛する心豊かな子供

## 3 めざす学校像

- ・ 児童の笑顔あふれる学校
- ・ 保護者や地域から信頼される学校
- ・ 一人一人の教職員が存在感を感じる学校

## 4 めざす教師像（教育愛、教師力、豊かな人間性）

- ・ 心身ともに健康で、明るく豊かな人間性をもつ教師
- ・ 教育に生き甲斐と喜びをもち、仕事の処理が正確で、迅速かつ慎重にできる教師
- ・ 愛情と情熱をもって児童に溶け込み、率先垂範する教師
- ・ 児童一人一人の才能や個性を見つけ、引き出して育てる教師
- ・ 児童をかけがえのない人格として尊重し、公平に愛情を注ぐ教師
- ・ 児童に、生きる希望や夢を与える教師
- ・ 豊かな教養と自らの教育実践を反省・改善し、絶えず研修に励む教師
- ・ 児童と心でふれ合い、優しさと厳しさをもって指導する教師
- ・ 児童や保護者、地域の人たちに信頼される教師
- ・ 全校的な視野で、全教職員が心を合わせて学校づくりに励む教師

## 5 経営方針

- ・ 経営の視点を常に児童に置き、児童の心身の健やかな成長をすべての教育活動の基本にする。
- ・ 全教職員の総意と英知を結集して、共通理解のもと、教育目標の具現化に努める。

- ・各教職員が長所を最大限に発揮し、活気ある学校づくりに努める。
- ・教育の尊厳性と使命感を自覚し、教育専門職としての資質の向上を図る。
- ・児童理解に努め、一人一人を大切に、個性の伸長と社会性の育成を図り、その能力を最大限に伸ばすよう努力する。
- ・本校の輝かしい歴史と伝統を継承するとともに、創意と工夫を加え、新たな伝統を創造する。
- ・郷土の美しい自然や文化に接し、先人の偉業を知り、郷土を愛する心を育てる。
- ・家庭、地域社会、市内各こども園・校、関係諸機関との連携を密にし、保護者や地域の信頼に応える。

## 6 本年度の重点目標と具体策

### 本年度重点目標

- 「確かな学びと、一人一人が輝く学校」
- 「子供の安心と安全を守り抜く学校」

#### (1) 学力向上に向けた授業改善

- ①指導方法を工夫し、基礎・基本の定着を図る。
  - ・理解が十分でない児童への手立てのあり方を工夫する。
  - ・発問の工夫と精選を行った授業づくりをする。
  - ・本時の「まとめ」や「振り返り」を充実させると共に、書かせて発表させる「知恵島の学び」を発展させる。
  - ・ICTを有効に活用する。
  - ・家庭学習の定着を図る。
  - ・読書の習慣化を図る。
- ②言語活動の充実を図る。
  - ・書く活動で自分の考えを確かなものにする。
  - ・発表の場・方法を工夫し、よく聞いて伝える力を育てる。
  - ・視写をとおして、読解力や文章力の育成と知識の習得を図る。

#### (2) 心豊かで思いやりのある児童の育成

- ①人権教育・道徳教育・特別活動の充実を行う。
  - ・自他の良さに気づく活動を工夫する。
- ②相手を思いやった正しい言葉遣いができるようにする。
  - ・お互いに認め合い、みんなでとことんすることを学ばせる。

#### (3) 生徒指導の充実

- ①基本的な生活習慣を確立する。
  - ・自分から進んで元気のよいあいさつをする。
  - ・時間を意識した生活を送る。

・学校美化に進んで取り組む。

②授業規律を確立する。

・授業のルールを身につける。

(4) 体力向上への工夫

①進んで心と体をきたえる児童を育てる。

・運動する楽しさを味わう場を工夫する。

・外遊びを奨励する。

・ラジオ体操朝会を行う。

(5) 家庭・地域との連携

①基本的な生活習慣の確立を図る。

・「早寝・早起き・朝ごはん」で規則正しい生活リズムを身に付けさせる。

②広報・広聴活動に努め、学校・家庭・地域のより一層の理解を深める。

・HPや学校だより・保健だより・学級だよりの充実を図る。

・保護者の思いを共感的に受け止め、親身になって相談に応じる。

③地域の教育資源(ひと・もの・こと)の積極的活用と開発を行う。

・外部講師の積極的活用を行う。

・地域学習を積極的に行う。

(6) 感染症や熱中症予防の徹底と教育の工夫

・手洗い・うがいの励行と、こまめな換気を行う。

・状況に応じて、帽子・マスク等を適切に使用できるようにする。

・教育活動の工夫を行い、豊かな学びを継続・推進させる。

## 7 留意点

(1) 教職員の持ち味を活かしたチームとしての学校運営

①社会や子供の変化に応じて、また組織の一員として活動する。

・PDCAサイクルで行事等の改善を図る。

(2) 他者と協働し、見通しを持てる教職員

①心身の健康を保つ。

・疲れをためない、無理をしない(同僚への声かけ・各自週に1日はノー残業デーを)。

・何でも話し合える職員室(一人で抱え込まない、悩まない)。

②教職員集団の凝集性を高める。

・他の教職員のよいところを学び、切磋琢磨し共に伸びていく姿勢を持つ。

・「知恵島メンター方式」により、教師力を高める。